

草津市立クリーンセンター見学会 実施報告



タマちゃん
ちょっと知りたがり

こんにちは。案内役のタマです。
まち環境部会では環境問題への理解を深めるために、いろいろなことを学んでいるよ。今回はタマも一緒に9月10日(土)に「草津市立クリーンセンター」へ見学に行ったよ。去年に引き続きの訪問で、さらによく理解できたこと、新しく分かったことをみんなに紹介するね。



クリーンセンターの基本情報

●所在地は草津市馬場町 ●2018年3月から使用 ●敷地面積約 2.3 ヘクタール（玉川小学校と同じぐらい）●処理能力は ◎焼却ごみ127トン/日、◎リサイクル処理（可燃性粗大ごみ、不燃性粗大ごみ、破碎ごみ、飲・食料用ガラスびん類、ペットボトル類、陶器・ガラス類）13.8トン/5h、プラスチック圧縮梱包処理（プラスチック容器）9トン/5h。草津市で出る焼却ごみは平均90トン/日くらい



バスに乗って出発



クリーンセンターに到着



エコスタイルプラザの展示



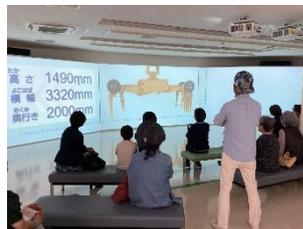
航空写真で家を探そう



制御室から見る炉内の様子



ゴミピットをかき混ぜる装置



3面スクリーンで学習



渡り廊下にも展示が並び



プラスチック容器類は指定ゴミ袋を機械で破って人の手で選別した後、圧縮して甲賀市の会社に送られるよ。荷物用のパレットや、プランター、バケツやボールペンの軸といったプラスチック製品の原料になるんだって。

袋を二重にして出すと、内側の袋は機械で取り除けないので、二重袋はやめてね。



圧縮されたプラスチック容器

飲み物、食べ物、飲み薬のビンが「**飲・食料用ガラスびん類**」だよ。塗り薬や化粧品のビンは「**陶器・ガラス類**」の日に出してね。ビンの種類を確認することがあるから、ラベルは貼ったままだしてね。

ピンを色ごとに分ける作業は機械でもできるけど、人の手で分けたほうが確実なんだって。



ペットボトルからは糸（様々な繊維製品になる）や透明シート（卵のパックなどに）ができるよ。高度な処理をしてペットボトルからペットボトルを再生する（ペットボトル用樹脂）こともできるようになったんだって。

破碎ごみは機械で砕いて、鉄とアルミを取り出したら残りは燃やしているそうだよ。燃えない**粗大ごみ**も同じようにするんだって。

燃える**粗大ごみ**は刻んで燃えるごみと一緒に燃やすよ。



蛍光管の水銀、乾電池のマンガン・亜鉛は資源として回収されるよ。

古紙と**空き缶**はクリーンセンターでは処理せずに直接リサイクル業者が引き取るんだって。



焼却ごみは焼却炉で燃やすよ。焼却炉内の温度は850℃以上！この熱で水蒸気を作ってタービン発電機で電気をつくるよ。これでクリーンセンターの電力をすべて賄っても3分の2が余るので売電しているよ。



焼却した後は10分の1くらいの灰が残るよ。この灰は昔は草津市内で埋め立てたけど、今は大阪湾に埋め立てているんだって。1年に不燃ごみと合わせて約4000トン埋め立ててるけど、だんだん埋め立てる場所が無くなってきていて、大きな問題なんだ。



花いっぱい運動 活動紹介

まち環境部会では、85個のプランターに花を植えて、玉川学区内の各町内やこども園に配ったり、南草津駅近くの歩道に花壇を作ったりして、まちを花でいっぱいにする運動をしているよ。こうすることでごみを捨てる人が減って町内の美化に役立つし、犯罪が減るというデータもあるそうだよ。

南草津駅近く、野路南交差点

6月の植え替え作業。去年の花を抜いて、新しい土と肥料を入れ、マリーゴールドとペゴニアを植えました。



9月はじめ、暑さも落ち着いて、ペゴニアが元気いっぱいになりました。



10月の植え替え作業。ビオラとパンジーを植えました。

1月の様子。▶



ローレルコート南草津、南側のビオラとパンジー。15個のプランターが並びます。



ボランティア募集中!



まち環境部会では、花いっぱい運動に協力してくださる方を募集しています。花の植え替え、水やりなど中心に活動して、一緒にまちをきれいにしていきましょう。

ご興味のある方は、玉川まちづくりセンター、まち環境部会担当まで

電話：077-564-0189 FAX：077-564-0200 e-mail：tamagawa@machikyou.jp